



# Dynavector DRT XV-1t Cartridge

## 取扱説明書

### ■ XV-1s から XV-1t へ

ダイナベクターでは過去数年に亘り、磁気回路における磁気特性がいかに音質に影響するかを理論的に研究し、フラックスダンパー、ソフト化マグネット（いずれも特許）とその研究成果を製品造りにいかしてきました。

1999年に発表したXV-1ではその研究成果として、8個のアルニコマグネットと全くユニークなV型ヨークを使用するという、今までにない画期的な磁気回路を完成させました。

2002年に発表したXV-1sでは、より理想的なエアギャップ内での磁気分布のリニアリティを達成すべく、V型フロント、磁気イコライザーにコストに拘らない高精度且つ複雑な機械加工を施し、更に再生音に顕著な影響を与えるボディ素材にも検討を加え、マグネット支持ボディには厳選したアフリカ黒檀を採用しました。その再生音は豊富な情報量とその実在感に富み、その優れたパフォーマンスは過去数年に亘り国内外のオーディオファイルや著名オーディオ誌から高い評価を受け、現在に至っています。

ダイナベクターではこれに満足することなく、さらなる改良を加えるべく、数年に亘り試作実験を繰り返しました。今回新発売するXV-1tでは、より理想に近いエアギャップ内での磁気分布のリニアリティ実現だけに留まらず、カートリッジを構成パーツの素材一つ一つにも熟考を重ね決定しました。

その結果XV-1tでは、XVが従来から持つリアルな実在感と滑らかさが絶妙にバランスし、その再生音は、豊かな臨場感とともに各楽器群のイメージが鮮明に浮かび上がります。

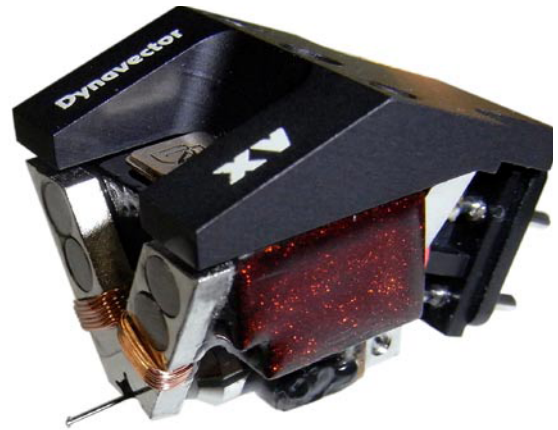
この革新的な設計思想から誕生したXV-1tは、デジタル全盛の今日においても、アナログソースが卓越した情報伝達メディアであることを再認識することができると共に、音楽的感動を引き出すことができます。

### ■ 理想を追求した磁気回路構成

V字型のフロントヨークとリアヨークの間に円柱アルニコマグネットを4個、さらにポールピースに相当する部分に円柱アルニコマグネットを4個、合計8個のマグネットを使用しています。更に特殊加工した磁気イコライザーを加えることにより、エア・ギャップ内での磁束分布のリニアリティと直交性は通常の磁気回路に比べ、かつてない程の改善が図られています。またフロントヨークには発電コイルの振動による磁気の動的な磁束変動を緩和するフラックスダンパーを装備しています。

### ■ 主な特長

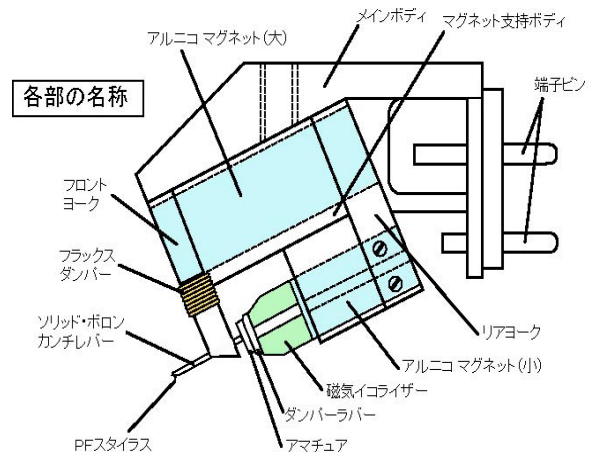
(1) 超高純度鉄アマチュアボロンカンチレバー針 Assy  
アマチュアには超高純度鉄を使用することにより、耐食性に優れ、経年変化のない安定した磁性特性を得ています。



(2) 独自形状アマチュアには極細コイルを採用  
フロントヨークの4角穴形状にマッチさせる為、特殊加工したアマチュアの外側周辺に沿って16ミクロン極細コイル巻いています。これによりエアギャップ内でのフラックスはコイル周辺に集中し、磁気分布のリニアリティをこれまで以上に高めています。

(3) アルニコ・コラム（柱状晶）マグネットを採用  
結晶組織を1方向に揃えることにより、磁気特性を更に高めたコラム・マグネットを採用しています。これにより磁気回路の特性と安定性は飛躍的に向上しています。

(4) マグネット支持ボディに漆仕上げ竹集成材ブロックを採用  
磁気回路を保持する筐体の振動特性も音質に強い影響を与えます。XV-1tでは従来の黒檀に代わり、オーディオのボディ素材としてはまったくユニークな竹材を精密機械加工し、表面を日本独特の漆コーティングを施しています。これにより高い剛性と制振効果が絶妙にマッチし、その再生音にも大きく寄与しています。



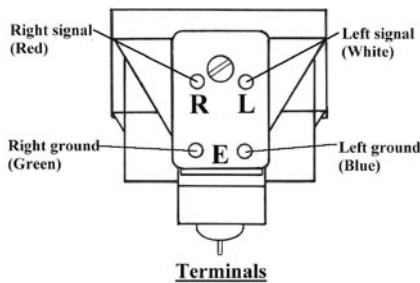
## ■取扱方法

### 1. トーンアームへの取り付け

カートリッジ本体を付属ネジ（M2.5 ソケットスクリュー）で、お手持ちのヘッドシェルにしっかりと固定します。ボディのネジ深さは 4mm です。ヘッドシェルの厚さを考慮して、適切な長さの付属ねじを使用してください。長過ぎるネジはボディを破損させる恐れがあります。ヘッドシェルに取付け時にはオーバーハングを調整する必要があります。オーバーハングはトーンアームにより異なりますので、使用されるトーンアームの説明書に準拠してください。

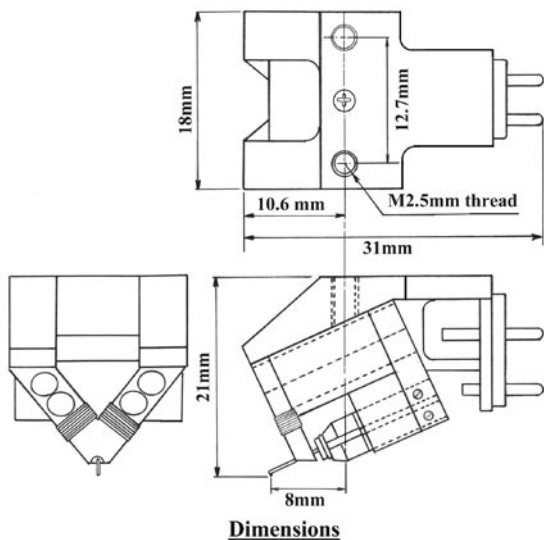
### 2. 接続方法

各リード線を下記ピン配置に従い、正しくヘッドシェル端子に接続してください。



### 3. 針 圧

適正針圧は 1.8～2.2g で、室温 20℃が基準です。室内温度が高い場合はやや軽め、低い場合はやや重めの針圧でお使いください。室内温度が極端に低い場合はトラッキング能力が低下し、レコードを傷つける恐れがありますのでご注意ください。



### 4. 出力電圧とヘッドアンプ

出力電圧は 0.35mV です。ヘッドアンプや昇圧トランスが別途必要になります。ヘッドアンプの推奨負荷抵抗は 75 Ω 以上、昇圧トランスは 20～30 Ω でご使用ください。

### 5. 針先のクリーニング

針先が汚れた場合には付属のブラシを用いて、カンチレバーの根本の方から針先へ向けて軽く払うようにクリーニングしてください。通常はノンアルコールタイプのカートリッジクリーニング液を使用してください。タール状のゴミが付着しブラシで取れない場合は、アルコールを少し含ませた綿棒を用い、針先を慎重に掃除してください。使用は針先の水分が十分乾いてからにしてください。

### 6. 針交換

針先が磨耗した場合は、本体をお買い上げいただいたお店宛お送りください。針交換価格にて針交換致します。輸送中の破損を防ぐ為、お買い上げいただいた時のパッケージは保存しておいてください。

### 7. 仕 様

|           |                                   |
|-----------|-----------------------------------|
| 形式        | : マルチマグネット / フラックスダンパー付 MC カートリッジ |
| 出力電圧      | : 0.35mV (at 1KHz, 5cm/sec.)      |
| 周波数特性     | : 20 - 20,000Hz ( ± 1dB)          |
| クロストーク    | : 30 dB (at 1KHz)                 |
| チャンネルバランス | : 1.0 dB (at 1KHz)                |
| コンプライアンス  | : 10 mm/N                         |
| インピーダンス   | : R = 24 Ω                        |
| スタイラスチップ  | : ラインコンタクト PF<br>曲率半径 7 × 30ミクロン  |
| カンチレバー    | : 6mm 長 φ 0.3mm ボロンムク             |
| 針圧        | : 1.8 - 2.2 g                     |
| 重量        | : 12.0g                           |

## ダイナベクター株式会社

101-0031 東京都千代田区東神田 3-2-7  
TEL 03-3861-4341 FAX 03-3862-1650  
URL <https://www.dynavector.co.jp/>